

「思春期の被虐待児に関わる支援者に生じる感情とその影響 －感情的な反応、倫理的葛藤に関するインタビュー調査－」への ご協力のお願い

この研究は東京科学大学指針対象外倫理審査委員会の審査・承認を受けています。

I.この研究の概要

研究課題名

思春期の被虐待児に関わる支援者に生じる感情とその影響－感情的な反応、倫理的葛藤に関するインタビュー調査－

研究目的

この研究は、思春期の被虐待児に関わる支援者に生じる感情とその影響を明らかにすることを目的としております。これにより、虐待をはじめとする複合的な困難を経験した思春期の子どもたちに、支援者が粘り強く関わり続けるための方法を検討していきたいと考えております。特に、子どもたちからの拒絶や攻撃的または挑発的な行動に直面した際の、支援者自身の感情的な反応や倫理的な葛藤、それを解消するための方法について検討するために、あなたの経験や考えをお聞かせください。なお、倫理的な葛藤には、あなた自身の価値観とは異なる考え方や行動様式を持つ子どもたちへの支援で感じる困難感を含みます。

承認番号 第 E2025-039-02 番

実施責任者及び研究統括責任者氏名

実施責任者:

武蔵野大学看護学部 講師 平岩 千明
〒135-0063 東京都江東区有明 3-3-3
e-mail: c-hiraiwa@musashino-u.ac.jp

研究統括責任者:

東京科学大学医学部 教授 谷口 麻希

研究期間

東京科学大学指針対象外倫理審査委員会承認日～2027年3月31日まで

研究方法

調査実施期間:東京科学大学指針対象外倫理審査委員会承認日～2026年1月31日(予定)

調査方法:約1時間のインタビュー

研究参加の同意が得られた方へ、対面もしくは遠隔会議システム Zoom を使用した、約1時間の個別インタビュー調査を実施します。

インタビューでは、思春期の被虐待児と関わった際に生じた感情とその影響についてお聞きする予定です。なお、インタビュー内容は皆様の許可を得て録音させていただきます。

2.研究協力の任意性と撤回の自由

この研究にご協力いただくかどうかは、皆様の自由意思に委ねられています。研究にご協力いただけない場合にも、皆様の不利益につながることはございません。

インタビューでは、お答えになりたくない質問にはお答えにならなくても構いません。また、インタビューの途中で同意を撤回することも可能です。

インタビュー後 2 週間以内であれば、同意撤回書の提出により参加を取りやめることができます。同意撤回をご希望の場合は、研究者へメールまたは電話ご連絡ください。同意撤回書および返送用封筒をお送りしますので、同意撤回書のご提出をお願いいたします。インタビューから 2 週間を経過してしまうと、匿名化のうえ、分析をしてしまうため、データを破棄することが難しくなりますのでご了承ください。

施設責任者様を通じて研究協力の募集を行う場合、貴施設が同意を撤回された際には、研究者からその旨をご説明します。すでにデータ（音声データ、逐語録）を取得していた際には、ご連絡先含め速やかに削除いたします。

3.個人情報の保護

インタビューでは個人名や施設名を匿名で語っていただくようお願いします。伺ったお話（データ）は、音声を文字の形に変え（文字起こしをし）、分析する前に氏名・固有名詞などの個人情報を削り、インタビューで得られた内容がどなたのものか分からないようにいたします。この研究に参加された方が同意書に書かれたお名前などは、研究責任者および研究者が鍵のかかる棚で保管し、他の方々に漏洩することのないよう、慎重に取り扱います。

4.研究成果の発表

研究の成果は、あなたの氏名など個人情報が明らかにならないようにした上で、学会発表や論文、学術雑誌、データベース等で公表します。また、希望される研究参加者の方には論文のコピーをお渡しします。

5.研究参加者にもたらされる利益及び不利益

この研究が、あなたに直ちに有益な情報をもたらす可能性は高いとはいえないかもしれません。しかし、この研究の成果は、今後、思春期の被虐待児に関わる支援者の指針となり、サポートになることを期待することができます。

インタビューでは、身体的・心理的負担、交通費や通信費などの費用負担、情報漏洩のリスク、があります。これらに対して以下の対応を行います：

- インタビュー時間を守り、疲労が見られる場合は休憩や中止を提案します。
- 実施場所や方法はあなたと相談し、負担の少ない形で行います。
- お答えになりたくない質問は、無理にお答えいただく必要はありません。
- 対面の場合は、第三者に音声が聞かれない個室などプライバシーが保たれた環境で実施します。
- Zoom 使用時は、第三者に音声が聞かれない個室など安全な環境から接続し、使用端末や Zoom アプリのアップデートをお願いいたします。研究者も同様の環境からアクセスし、準備して臨みます。

6.研究終了後のデータ等の取扱い方針

あなたからいただいたデータ等は、原則としてこの研究にのみ使用します。研究終了 10 年後、データは消去し同意書等はシュレッダーにより粉碎します。なお、将来今回のデータを新たな研究に用いる場合は改めて研究倫理委員会の承認を受けた上で行います。

7.あなたの費用負担

インタビュー実施に伴う交通費および通信費をご負担いただきます。
ご協力してくださった方には、クオカードをお渡しさせていただきます（2000 円）。

8.その他

この研究に関する費用は文部科学研究費補助金「対人支援場面における攻撃性の制御:トラウマ理論に基づく経験学習プログラムの開発」より支出されています。

本研究に関して、開示すべき利益相反関係はありません。

ご意見、ご質問などございましたら、お気軽に下記までお寄せください。

問い合わせ等の連絡先

実施責任者:平岩 千明 武蔵野大学看護学部

東京都江東区有明 3 丁目 3 番 3 号

e-mail: c-hiraiwa@musashino-u.ac.jp

研究分担者:小竹 理紗 東京科学大学大学院精神保健看護学分野

e-mail: kotake.r.9a6f@m.isct.ac.jp

電話:03-5803-5321 (月火木金 10~18 時)